



栄東地区

実践的避難所
運営訓練の取り組み

令和5年11月27日

栄東連合町内会

訓練のねらい：いざっ、という時に備えよう

北海道胆振東部
地震の教訓をい
かす

町内会の参加に
よる円滑な避難
所運営

自ら開設、運営
する実践的な訓
練を目指す

北海道胆振東部地震の教訓をいかす

- 派遣職員がマニュアルを見ながら右往左往
(避難所開設の経験や知識不足)
- 学校によって配置が異なる
(例：備蓄庫や受水槽の場所)
- 情報収集にスマホの電源が不可欠
(停電時の対応)



町内会の参加による円滑な避難所運営

- 通常の訓練は、市役所が準備
 - 知識は得られても現実感がない
- 避難所開設や運営を一から体感しよう
 - とにかく実地に避難所をつくってみよう！



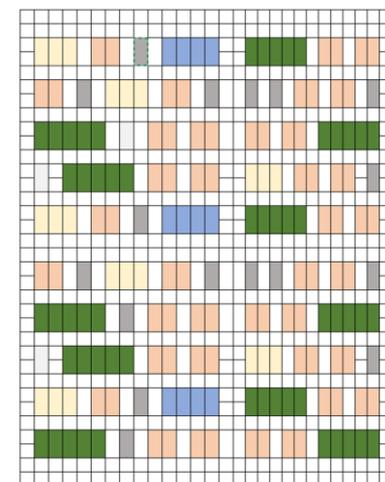
自ら開設、運営する実践的な訓練を目指す

■ 市のマニュアルは机上論

- 高齢者などの避難スペースからトイレが遠い！
- 受付までの動線が外にあり、悪天候時を考えていない！
- 感染症と健康な人の動線を分けるとするが階段が1つしかない学校も！

■ 肝心な課題に、解決策がない

- 避難者が殺到したとき、どう迅速に避難スペースを割り振るか？
(市のマニュアルには答えがない！)



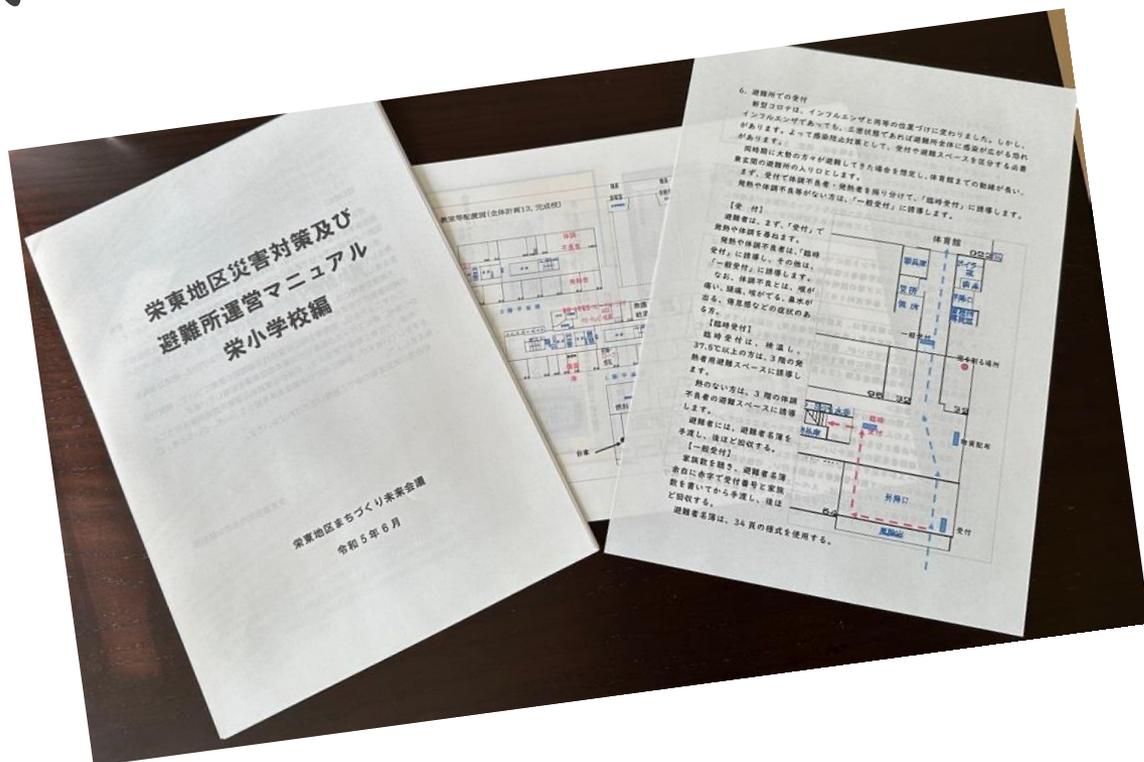
取り組み 1 : 発電機の配備

- 栄東連合町内会の4つの分区とまちづくりセンター
 - 合計9台の発電機を計画的に配備
 - ◆ 平時は、町内会のイベント等に活用
 - ◆ 緊急時は役員等の円滑な情報収集と連絡に活用



取り組み2：学校ごとの避難所運営マニュアルの作成

- 校舎の実際の配置に応じた避難所運営マニュアル作成



取り組み3：避難所運営マニュアルに基づく訓練

- 令和4年10月2日 栄町小学校
- 令和5年6月25日 栄小学校
- 令和6年度 栄南小学校（予定）



実際の訓練の流れ

1. 公式LINEなどによる災害発生、避難所開設の通知
2. 学校近隣の町内会役員・PTA・消防団などの集合
3. 避難所開錠、避難場所の設置・看板掲示、物資運搬
4. 避難者の受け入れ
 - 受付、感染者の振り分け、避難スペースの割り当て
5. 避難所内の配置やトイレなどの確認、備蓄物資の重さの体験
6. 訓練の講評、備蓄物資の配布、解散



FUTURE CONFERENCE NEWS

未来会議ニュース

栄東地区まちづくり未来会議

動画はYouTubeで見ることができます。
(ここをクリックするとページ遷移します)

訓練のポイント① 避難所開設の連絡

■ 緊急時の連絡体制構築が課題

- ホームページでの情報発信
- 公式LINE
- ショートメール
- オンライン会議
- 広報車



地区内の情報発信
月2万件のアクセス
災害時には緊急情報
を発信

▼ プレビュー ⓘ

トークルーム トークリスト

栄東連合町内会

これは、訓練用の情報です。お間違いないようにお願いします。

(訓練通知) 6月25日・日曜日、午前7時00分頃、札幌市内直下・月寒断層を震源とする大規模地震が発生し、札幌市東区でも震度6弱を記録しました。栄東地区でも、家屋の倒壊や一部損壊、マンションなどの住戸で家具の転倒、什器の損壊などの大きな被害が発生しました。

震度は6弱のため、市内の小中学校の避難所が直ちに開設される見込みにあります。

つきましては、今後、大勢の住民が避難してくる可能性があり、連合町内会及び単位町内会役員等におかれて

訓練のポイント② 避難所の開錠

- まちづくりセンターが区内小中学校の避難所
キーボックスの暗証番号を保管
 - センター長以外、連合町内会長、防火防犯部長がまちづくりセンターを開くことができる（まちづくりセンターが災害時の緊急センターとして対応）
- ※センター運営を地域が受託しているため



訓練のポイント③ 備蓄庫の確認と物資運搬

■ 災害時備蓄庫は学校ごとに異なる

□ 実際の位置を確認し、物資を運搬する訓練も



栄町小
の備蓄庫
(栄町中の敷地)

栄小
の備蓄庫
(校舎2階)



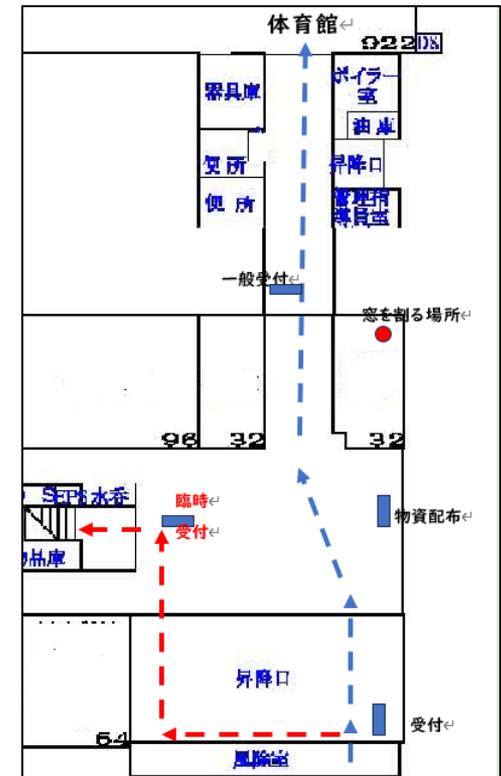
訓練のポイント④ 避難室の配置と確認

- 教室を高齢者用、妊産婦用、救護室、採暖室などの部屋に見立て実際に配置
 - 校舎内を歩き、位置を確認



訓練のポイント⑤ 避難者の受付

- 避難所は、一般受付と発熱者・体調不良者を区分して、一緒にならないように受け入れ
- 新型コロナの位置づけは変わったが、インフルエンザの流行からまん延防止に配慮
- 動線を長くするため、市のマニュアルを変更して実施



訓練のポイント⑥-1 避難スペースの割り当て

■ 市マニュアルの問題点



すべておぜん立てした訓練で実感がない！

避難所運営のポイントになる避難者に避難スペースを割り当てる方法がない



訓練のポイント⑥-2 避難スペースの割り当て

- 各人数に応じたブルーシートを用意

方法1 栄町小方式

- 体育館を4つに区分
- 1人用、2人用、3人用、多人数家族用
と避難スペースを事前に準備
- 避難者の家族数に応じてスペースに案内



訓練のポイント⑥-3 避難スペースの割り当て

■ 方法2 栄小方式

- 1人用、2人用、3人用、多人数家族用のブルーシートを準備
- 受付順に対応する家族数のシートを渡し、避難区画に案内
- 避難スペース班がサポートしながら避難スペース設置



防災を他人事ではなく、自分事に

- 緊急時、備え以上のことはできない
- 自然災害は繰り返す！防災意識を風化させない
 - 体験の繰り返して、対応力を高めよう
- 災害直後、行政は無力！頼れるのは隣近所
 - 教訓を生かし、安全を守る

安全 ・ 安心



ご清聴ありがとうございました

栄東連合町内会 & 栄東地区まちづくり未来会議